

Nikon

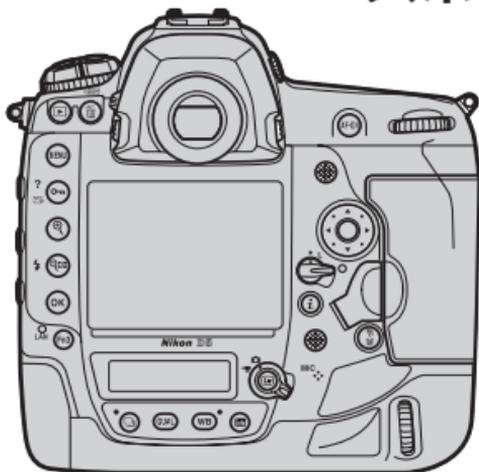


D5 Professional

推奨設定ガイド

– スポーツAF編 –

Revision 2.0



目次

スポーツ撮影の AF の基本設定 CHECK IT OUT ✓	3
● AF モードを AF-C に！	3
● AF エリアモードをダイナミック AF・25 点に！	3
● AF ロックオンの [横切りへの反応] を [2] に！	4
● AF ロックオンの [被写体の動き] は標準に！	4
● 半押しタイマーの設定を長めに！	5
AF エリアモードのヒント	6
● AF エリアモードの種類	6
● AF エリアモードのカスタム設定 CHECK IT OUT ✓	10
フォーカスポイントのヒント	11
● 装着レンズ別クロスセンサーの点数	12
● テレコンバーター使用時のフォーカスポイント	13
スポーツ撮影の AF に関するカスタムメニューについて	17
● a1：AF-C モード時の優先	18
● a3：AF ロックオン	20
● a6：AF 点数切り換え	22
● a7：縦 / 横位置フォーカス切換	22
● a8：半押し AF レンズ駆動	25
● a9：AF エリアモードの限定	26
● a10：AF モードの制限	26
● a11：フォーカスポイント循環選択	26
AF に便利なカスタムボタンの割り当てについて CHECK IT OUT ✓ ...	27
● AF に関する機能を割り当てられるボタン	27
● ボタンに割り当てられる AF に関する機能	28
● レンズのフォーカス作動ボタンについて	30
AF 微調節の自動設定 CHECK IT OUT ✓	31
撮影競技別の推奨設定	34
● 撮影シーン別 AF に関する推奨設定一覧	34
● サッカー	40
● ウィンタースポーツ	41
● 体操	52
● 陸上競技	60
● 水泳	68

スポーツ撮影の AF の基本設定 CHECK IT OUT

スポーツ撮影をするための AF の基本設定は次の通りです。

AF モード	AF-C		
AF エリアモード	ダイナミック AF・25 点		
カスタムメニュー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[2]
		被写体の動き	標準
	a10: AF モードの制限	[AF-C]	
c2: 半押しタイマー	[1分]		

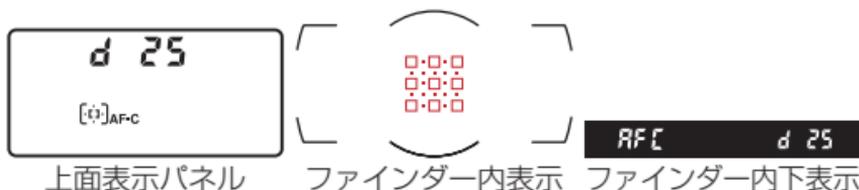
● AF モードを AF-C に！

AF-ON ボタンを押している間、またはシャッターボタンを半押ししている間は常にピントを合わせ続けるモードです。

● AF エリアモードを ダイナミック AF・25 点に！

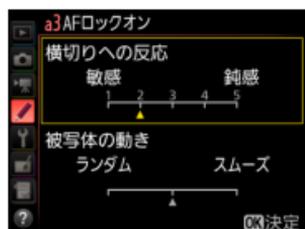
撮影者が選んだ 1 つのフォーカスポイントから被写体が一時的に外れても、周辺のフォーカスポイントからのピント情報を利用してピントを合わせます。

下の図は AF モードボタンを押している間の表示です。



● AF ロックオンの 【横切りへの反応】を【2】に！

敏感側に設定することで、撮影対象の被写体が頻繁に切り替わる場合にも素早く対応できます。



● AF ロックオンの 【被写体の動き】は標準に！

【被写体の動き】は標準（ランダムとスムーズの間）に設定することで、幅広い被写体に対応できます。

● 半押しタイマーの設定を長めに！

半押しタイマーの状態がオフのときにオートフォーカス動作をする、半押しタイマーがオンになるまでのタイムラグが生じるため、オートフォーカスの初動が遅れることがあります。半押しタイマーがオンの状態であれば、オートフォーカス動作の遅れが生じないため、カスタムメニュー c2 [半押しタイマー] で半押しタイマーの時間を長めに設定することをおすすめします。



- ・半押しタイマーの時間を長めに設定するとバッテリーの消費量も増加します。必要に応じて設定を変更してください。
- ・たとえばサッカーの試合で、コーナーキックからのゴールシーンを狙っている場合に、コーナーキックを待っている間に半押しタイマーがオフになってしまうことがあります（初期設定の6秒で半押しタイマーがオフになる場合）。このような場合、半押しタイマーの時間を1分以上に設定することをおすすめします。

各競技における最適な AF の設定は、「撮影競技別の推奨設定」(P.34) を参照してください。

AF エリアモードのヒント

● AF エリアモードの種類

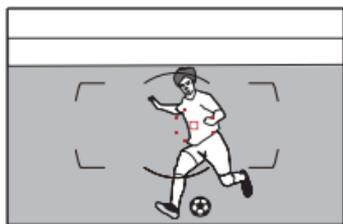
撮影シーンに合った 10 種類の AF エリアモードを選択できます。

AF エリアモード	上面表示パネル	ファインダー内下表示	ファインダー内表示 (設定時)	ファインダー内表示 (撮影時)
シングル ポイント AF	S	S		
ダイナミック AF・9点	d 9	d 9		
ダイナミック AF・25点	d 25	d 25		
ダイナミック AF・72点	d 72	d 72		
ダイナミック AF・153点	d 153	d 153		

説明

フォーカスポイントを自分で選べます。選んだフォーカスポイントだけを使ってピント合わせをします。撮影者が被写体を確実に捉え続けられる場合に有効です。

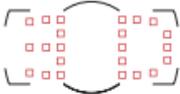
AF 開始時、撮影者が選んだフォーカスポイントでピント合わせを行います。その後、選んだフォーカスポイントから一時的に被写体が外れた場合にも、周辺のピント情報を利用してピント合わせを行う設定です。被写体のコントラストが低く、選んだ



フォーカスポイントでピントが合いにくい場合や、被写体の動きが激しく、1つのフォーカスポイントだけでは捉え続けることが難しい場合に有効です。

- 撮影時は選んだフォーカスポイントとその周辺のフォーカスポイント（小さな・）のみ表示されますが、実際にはその周辺のフォーカスポイントの9点、25点、72点または153点を使用してピントを合わせます。
- 被写体の占める面積が大きい場合や、被写体の動きが速く複雑な場合は、ダイナミック点数を増やすことが有効です。周辺部のフォーカスポイントを選ぶ場合は、点数を一段増やすことをおすすめします。

AF エリアモードのヒント

AF エリアモード	上面表示パネル	ファインダー内下表示	ファインダー内表示 (設定時)	ファインダー内表示 (撮影時)
3D- トラッキング	3d	3d		
グループ エリア AF	GrP	GrP		
グループ エリア AF(HL)	GrP HL	G HL		
グループ エリア AF(VL)	GrP VL	G VL		
オートエリア AF	Auto	Auto		

説明

被写体の色情報を認識し、シャッターボタンを半押ししている間は1度ピントを合わせた被写体を追いかけて、ピントを合わせ続けます。

撮影者が選んだポイントとその周辺のフォーカスポイント（グループ）のすべてを使ってピント合わせをします。シングルポイント AF よりも広い範囲で、最も手前にある被写体を優先してピントを合わせるため、誤って背景にピントが合ってしまうことが起こりにくくなります。1つのフォーカスポイントでは捉えにくい被写体を撮影する場合に適しています。

撮影者が選んだ横一列または縦一列のフォーカスポイントの中から、最も手前にある被写体を捉えているフォーカスポイントを優先してピント合わせをします。

主要被写体と思われる場所のフォーカスポイントをカメラが自動で選択し、ピント合わせを行います。人物の顔を認識した場合は、優先して顔にピントを合わせます。

● AF エリアモードのカスタム設定 **CHECK IT OUT** ✓

ボタンに [AF エリアモード] を割り当てて 複数の AF エリアモードを素早く切り替える

各ボタンに機能を割り当てるには、カスタムメニュー f1 [カスタムボタンの機能] (P.27) を使用します。たとえば **Pv** ボタンに [ダイナミック AF (72 点)]、レンズのフォーカス作動ボタンに [グループエリア AF] を設定しておけば、何もボタンを押していなければダイナミック AF・25 点、**Pv** ボタンを押している間だけはダイナミック AF・72 点、レンズのフォーカス作動ボタンを押している間だけはグループエリア AF で撮影できます。



縦位置 / 横位置別に AF エリアモードを設定する

カスタムメニュー a7 [縦 / 横位置フォーカス切替] (P.22) を [フォーカスポイントと AF エリアモード] に設定した場合、カメラの横位置と縦位置を切り換えたときに、選択したフォーカスポイントと AF エリアモードを姿勢ごとに保持できます。

使用する AF エリアモードを限定する

カスタムメニュー a9 [AF エリアモードの限定] (P.26) で使用する AF エリアモードを限定できます。



フォーカスポイントのヒント

このカメラは、153点のフォーカスポイントを使用してフォーカスを合わせます。そのうちの55点（右図で赤い□で表示されているポイント）



は自分で選ぶことができます。装着しているレンズやテレコンバーターによって、クロスセンサーの数や使用可能なフォーカスポイントが異なります（[P.12](#)～[P.16](#)）。

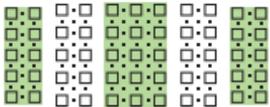
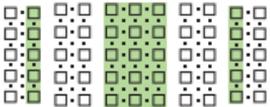
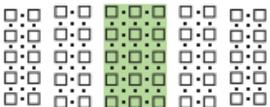
フォーカスポイントの選択について

- 使用するフォーカスポイントを移動した場合、マルチセレクターの**中央**ボタンを押すとフォーカスポイントは中央に移動します。
- 選択可能なフォーカスポイントの数を変更できます（[P.22](#)）。
- フォーカスポイント移動時に、上下左右に循環して選択できます（[P.26](#)）。

フォーカスポイントのヒント

● 装着レンズ別クロスセンサーの点数

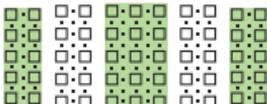
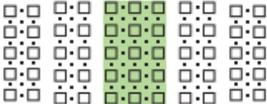
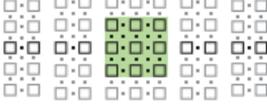
緑のエリア内にあるフォーカスポイントがクロスセンサーを使用し、それ以外のポイントはラインセンサーで横線を検出します。

装着するレンズ	クロスセンサー
下記のレンズを除く開放絞り値*がF4以上明るいAF-Sレンズ	 <ul style="list-style-type: none">クロスセンサー 99 点
<ul style="list-style-type: none">AF-S DX Zoom-Nikkor 12-24mm f/4G IF-EDAF-S Micro NIKKOR 60mm f/2.8G EDAF-S NIKKOR 600mm f/4G ED VRAF-S NIKKOR 600mm f/4E FL ED VRAF-S Nikkor 600mm f/4D IF-ED IIAF-S Nikkor 600mm f/4D IF-ED	 <ul style="list-style-type: none">クロスセンサー 63 点
<ul style="list-style-type: none">AF-S NIKKOR 200-400mm f/4G ED VR IIAF-S VR Zoom-Nikkor 200-400mm f/4G IF-EDAF-S NIKKOR 500mm f/4G ED VRAF-S Nikkor 500mm f/4D IF-ED IIAF-S Nikkor 500mm f/4D IF-ED開放絞り値*がF4より暗いAF-SレンズAF-Sレンズを除くその他のレンズ	 <ul style="list-style-type: none">クロスセンサー 45 点

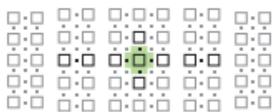
*ズームレンズの場合は最も望遠側の開放絞り値

● テレコンバーター使用時のフォーカスポイント

テレコンバーター使用時にオートフォーカスとフォーカスイドが可能なフォーカスポイントは、次の図の通りです（2016年3月現在）。緑のエリア内にあるフォーカスポイントがクロスセンサーを使用します。

使用する テレコンバーター	装着するレンズの 開放絞り値	オートフォーカスと フォーカスイド可能な フォーカスポイント
<ul style="list-style-type: none"> TC-14E/TC-14E II/ TC-14E III TC-17E II TC-20E/TC-20E II/ TC-20E III 	F2	 <ul style="list-style-type: none"> 153点（選択可能ポイント55点） クロスセンサー99点
<ul style="list-style-type: none"> TC-14E/TC-14E II/ TC-14E III 	F2.8	<ul style="list-style-type: none"> クロスセンサー99点
<ul style="list-style-type: none"> TC-17E II TC-20E/TC-20E II/ TC-20E III 	F2.8	 <ul style="list-style-type: none"> 153点（選択可能ポイント55点） クロスセンサー45点
<ul style="list-style-type: none"> TC-14E/TC-14E II/ TC-14E III 	F4	<ul style="list-style-type: none"> クロスセンサー45点
<ul style="list-style-type: none"> TC-17E II 	F4	 <ul style="list-style-type: none"> 37点（選択可能ポイント17点）* クロスセンサー25点
<ul style="list-style-type: none"> TC-800-1.25E ED 	F5.6	<ul style="list-style-type: none"> クロスセンサー25点

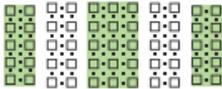
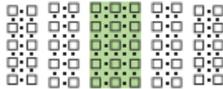
フォーカスポイントのヒント

使用する テレコンバーター	装着するレンズの 開放絞り値	オートフォーカスと フォーカスエイド可能な フォーカスポイント
<ul style="list-style-type: none"> TC-20E/TC-20E II/ TC-20E III 	F4 (合成 F 値 F8 に対応)	
<ul style="list-style-type: none"> TC-14E/TC-14E II/ TC-14E III 	F5.6 (合成 F 値 F8 に対応)	<ul style="list-style-type: none"> 15 点 (選択可能ポイント 9 点) * クロスセンサー 5 点

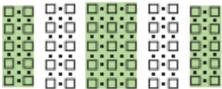
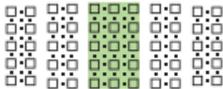
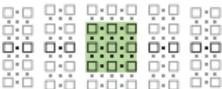
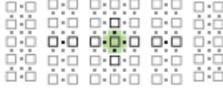
※ グレー部分のフォーカスポイントを選択した場合、条件によってはオートフォーカスが機能することがあります。

レンズとテレコンバーターの組み合わせによる オートフォーカスとフォーカスエイド可能な フォーカスポイント

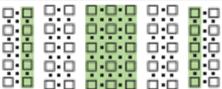
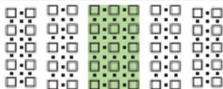
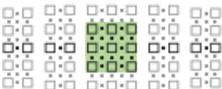
■ AF-S NIKKOR 400mm f/2.8E FL ED VR、 AF-S NIKKOR 70-200mm f/2.8G ED VR II の場合

レンズ単体 / TC-14E/TC-14E II/TC-14E III	TC-17E II/ TC-20E/TC-20E II/TC-20E III
	
<ul style="list-style-type: none"> 153 点 (選択可能ポイント 55 点) クロスセンサー 99 点 	<ul style="list-style-type: none"> 153 点 (選択可能ポイント 55 点) クロスセンサー 45 点

■ AF-S NIKKOR 500mm f/4E FL ED VR の場合

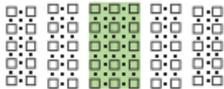
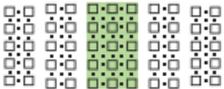
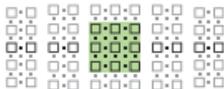
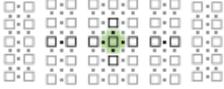
レンズ単体	TC-14E/TC-14E II/TC-14E III
 <ul style="list-style-type: none"> • 153点(選択可能ポイント55点) • クロスセンサー 99点 	 <ul style="list-style-type: none"> • 153点(選択可能ポイント55点) • クロスセンサー 45点
TC-17E II	TC-20E/TC-20E II/TC-20E III
 <ul style="list-style-type: none"> • 37点(選択可能ポイント17点) • クロスセンサー 25点 	 <ul style="list-style-type: none"> • 15点(選択可能ポイント9点) • クロスセンサー 5点(合成F値 F8に対応)

■ AF-S NIKKOR 600mm f/4E FL ED VR の場合

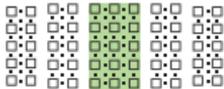
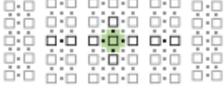
レンズ単体	TC-14E/TC-14E II/TC-14E III
 <ul style="list-style-type: none"> • 153点(選択可能ポイント55点) • クロスセンサー 63点 	 <ul style="list-style-type: none"> • 153点(選択可能ポイント55点) • クロスセンサー 45点
TC-17E II	TC-20E/TC-20E II/TC-20E III
 <ul style="list-style-type: none"> • 37点(選択可能ポイント17点) • クロスセンサー 25点 	 <ul style="list-style-type: none"> • 15点(選択可能ポイント9点) • クロスセンサー 5点(合成F値 F8に対応)

フォーカスポイントのヒント

■ AF-S NIKKOR 200–400mm f/4G ED VR II の場合

レンズ単体	TC-14E/TC-14E II/TC-14E III
 <ul style="list-style-type: none"> • 153点(選択可能ポイント55点) • クロスセンサー 45点 	 <ul style="list-style-type: none"> • 153点(選択可能ポイント55点) • クロスセンサー 45点
TC-17E II	TC-20E/TC-20E II/TC-20E III
 <ul style="list-style-type: none"> • 37点(選択可能ポイント17点) • クロスセンサー 25点 	 <ul style="list-style-type: none"> • 15点(選択可能ポイント9点) • クロスセンサー 5点(合成F値F8に対応)

■ AF-S NIKKOR 80–400mm f/4.5–5.6G ED VR、 AF-S NIKKOR 200–500mm f/5.6E ED VR の場合

レンズ単体	TC-14E/TC-14E II/TC-14E III
 <ul style="list-style-type: none"> • 153点(選択可能ポイント55点) • クロスセンサー 45点 	 <ul style="list-style-type: none"> • 15点(選択可能ポイント9点) • クロスセンサー 5点(合成F値F8に対応)

スポーツ撮影の AF に関する カスタムメニューについて

カスタムメニュー [a オートフォーカス] の D5 と D4S の違いについて

D5 のカスタムメニュー [a オートフォーカス] には、D4S と比べて次の差異があります。

D5

a1	AF-C モード時の優先
a2	AF-S モード時の優先
a3	AF ロックオン
a4	3D- トラッキングの顔認識
a5	3D- トラッキングの捕捉領域
a6	AF 点数切り換え
a7	縦 / 横位置フォーカス切換
a8	半押し AF レンズ駆動
a9	AF エリアモードの限定
a10	AF モードの制限
a11	フォーカスポイント循環選択
a12	フォーカスポイント表示の設定

D4S

a1	AF-C モード時の優先
a2	AF-S モード時の優先
a3	AF ロックオン
a4	半押し AF レンズ駆動
a5	フォーカスポイント表示
a6	フォーカスポイント循環選択
a7	AF 点数切り換え
a8	AF-ON ボタンの機能
a9	縦位置 AF-ON ボタンの機能
a10	縦 / 横位置フォーカス切換
a11	AF エリアモードの限定
a12	AF モードの制限

- D5 に a4 [3D- トラッキングの顔認識]、a5 [3D- トラッキングの捕捉領域] が追加されています。
- D4S の a8 [AF-ON ボタンの機能]、a9 [縦位置 AF-ON ボタンの機能] が f1 [カスタムボタンの機能] に集約されています。
- D4S の a5 [フォーカスポイント表示] が D5 の a12 [フォーカスポイント表示の設定] に変更されています。子項目の [連写時の表示]、[グループエリア AF モード時の表示] が削除されています。

● a1 : AF-C モード時の優先

ピントの状態とリリースのタイミングのどちらを優先するかを設定できます。

シャッターボタンを全押しした時

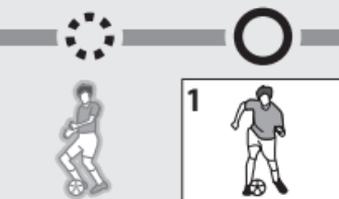
☉ レリーズ

ピント状態に関係なく、リリースのタイミングを優先してシャッターをきることができます。連続撮影する場合にも連続撮影速度を維持します。



☉☉ フォーカス/リリース

1 コマ目はリリースのタイミングが遅れることもありますが、1 コマ目からピントの合った撮影が可能になります。連続撮影時には 2 コマ目以降からリリースのタイミングを優先し、連続撮影速度を維持します。



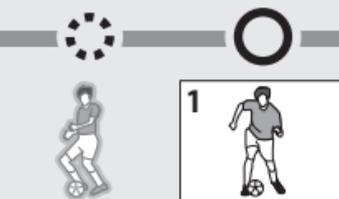
☉☉☉ レリーズ/フォーカス

1 コマ目はピント状態に関係なく、リリースのタイミングを優先してシャッターをきることができます。2 コマ目以降はピントが合いにくい場合は撮影速度が低下することがありますが、ピント合わせを優先するためピントの合う割合が向上します。



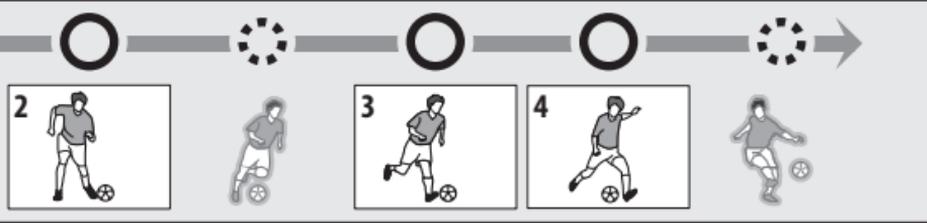
☉☉☉☉ フォーカス

ピントの状態を優先するため、ピントが合うまでシャッターがきれませんが、ピントの合う割合が向上します。



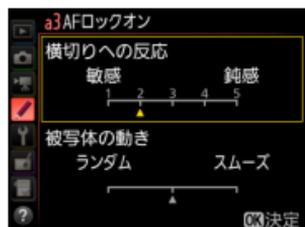
- ⦿ ピントが合っていない状態
- ピントが合っている状態
- 撮影できた画像（左上の数字はコマ数を表しています）

※この図はレリーズの正確なタイミングを表すものではありません。



● a3 : AF ロックオン

AF ロックオンには [横切りへの反応] と [被写体の動き] の 2 種類の設定があります。



横切りへの反応

AF モードを AF-C に設定している場合、ピント合わせをしている被写体が横切り被写体によって捉えることができなくても一定時間ピントの位置を維持します。被写体とカメラの間を障害物が横切るような撮影など、意図に反して障害物にピント合わせを行うことを防止できます。追従するピント合わせの切り替えを開始するまでの時間が短い順に [1 (敏感)]、[2]、[3]、[4]、[5 (鈍感)] の 5 段階になります。

主要被写体



横切り
被写体

- 主要被写体のそばの物体には追従してピント合わせを行います。
- 鈍感側に設定すると、主要被写体との間に横切り被写体が横切っても、撮影対象の主要被写体にピントを合わせ続けます。敏感側に設定すると、撮影対象の主要被写体との間に横切り被写体が横切ったときに素早くピント合わせの対象を切り換えることができます。頻繁に被写体を切り換えたい場合に便利です。

-
- ・ [横切りへの反応] は AF 作動中に有効です。撮影中の被写体から距離の離れた別の被写体に瞬時に切り替えて撮影したい場合には、再度 AF をし直すことをおすすめします。

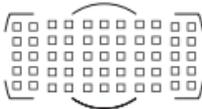
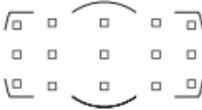
被写体の動き

被写体がどのような動きをしているかを選択することによって、ピントの追従性を向上させます。

- ・ スピードスケートやモータースポーツなど、一定の速さでカメラに向かってくる被写体を撮影する場合は [スムーズ] に設定してください。
- ・ アイスホッケーなど、カメラに向かってくる速度が急激に変化する被写体を撮影する場合は [ランダム] に設定してください。

● a6 : AF 点数切り換え

選択可能なフォーカスポイントの数を設定できます。

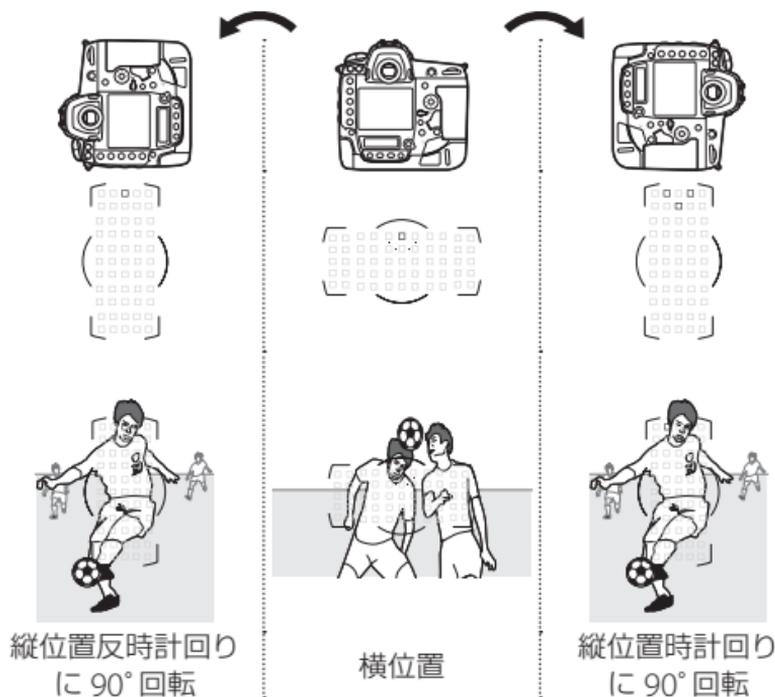
AF55 55 点	55 点全てのフォーカスポイント を選べます。構図を細かくコン トロールしたい時に有効です。	
AF15 15 点	15 点のフォーカスポイントか ら選べます。フォーカスポイ ントの位置をすばやく動かし たいときに有効です。	

● a7 : 縦 / 横位置フォーカス切換

カメラの横位置と縦位置を切り換えたときに、選択したフォーカスポイントと AF エリアモードを姿勢ごとに保持できます。カメラの姿勢を変えてもフォーカスポイントを設定し直さなくてもよいため、撮影に専念できます。設定は [フォーカスポイント]、[フォーカスポイントと AF エリアモード] または [しない] から選べます。

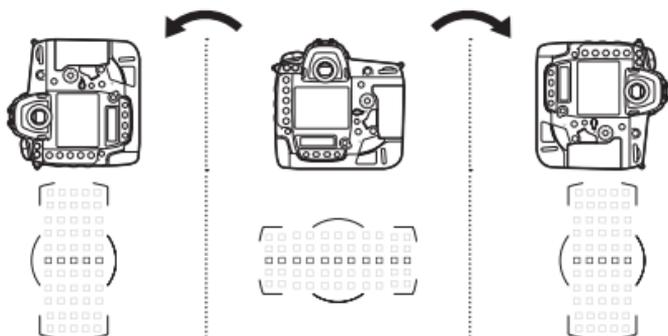
- ・ [フォーカスポイント] に設定すると、横位置と時計回りの縦位置、反時計回りの縦位置で個別にフォーカスポイントを保持できます。設定後、フォーカスポイントを移動すると、そのフォーカスポイントの位置が自動的に保持されます。一度 [しない] に設定すると、フォーカスポイントはカメラの位置に関係なく中央にリセットされます。

- ・ [フォーカスポイントと AF エリアモード] に設定した場合、フォーカスポイントに加えて AF エリアモードも個別に保持できます。設定後、フォーカスポイントを移動したり AF エリアモードを設定したりすると、そのフォーカスポイントの位置または AF エリアモードが自動的に保持されます。



スポーツ撮影の AF に関するカスタムメニューについて

- 横位置時の AF エリアモードの設定をグループエリア AF (HL) にした場合、カメラを縦位置にしたときもピントが横位置に合うようにするには、縦位置の設定をグループエリア AF (VL) に設定します。

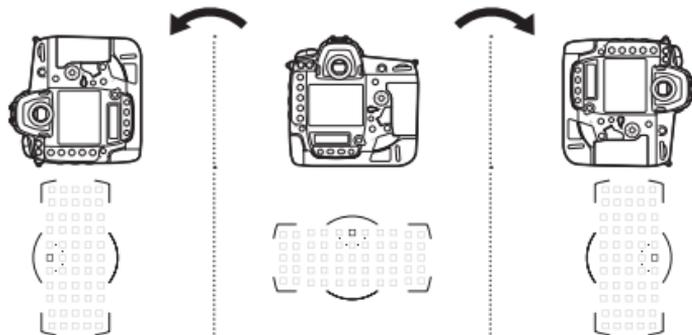


縦位置反時計回りに 90° 回転 (グループエリア AF (VL))

横位置 (グループエリア AF (HL))

縦位置時計回りに 90° 回転 (グループエリア AF (VL))

- [しない] に設定した場合、横位置と縦位置で同じフォーカスポイントおよび AF エリアモードを使います。



縦位置反時計回りに 90° 回転

横位置

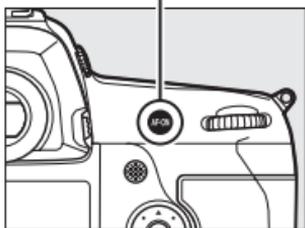
縦位置時計回りに 90° 回転

● a8 : 半押し AF レンズ駆動

[しない] に設定すると、シャッターボタンを半押ししてもピント合わせの動作を行いません。リリースとピント合わせをそれぞれ独立して行うことができます。

- ・ピント合わせは **AF-ON** ボタンで行い、リリースはシャッターボタンで行います。
- ・カスタムメニュー f1 [カスタムボタンの機能] で [AF-ON] を割り当てたボタンでもピント合わせを行えます。
- ・ピントを固定してシャッターをきりたいときや、被写体の手前に障害物が入り込んできたときなど、オートフォーカスの駆動を止めたい場合は **AF-ON** ボタンを放すことで AF ロック状態になります。
- ・[しない] を選んでマルチセレクターの  を押すと、[非合焦時のリリース] を設定できます。スポーツ撮影時は [許可] に設定していることを確認してください。

AF-ON ボタン



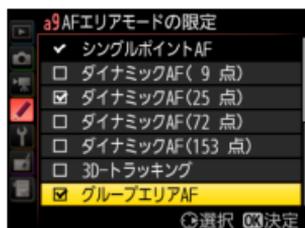
フォーカス作動設定スイッチのある超望遠レンズを使用する場合にスイッチを **AF-ON** に合わせると、カメラの **AF-ON** ボタンと同様の使い方ができます。



● a9 : AF エリアモードの限定

AF エリアモードを限定し、意図しない設定で撮影することを防ぎます。

たとえば [ダイナミック AF (25 点)] と [グループエリア AF] に を入れると、シングルポイント AF、ダイナミック AF・25 点またはグループエリア AF のみ選べるようになります。



● a10 : AF モードの制限

AF モードを制限できます。スポーツ撮影で [AF-C] だけを使用する場合、ここを [AF-C] に設定しておけば誤操作で [AF-S] に設定変更してしまうことを防止できます。



● a11 : フォーカスポイント循環選択

フォーカスポイントをマルチセレクターで選ぶときに、上下左右端で循環するように設定できます。フォーカスポイントの位置を頻繁に大きく移動する場合に便利です。

[する] を選んだ場合、一番端のフォーカスポイント (①) を選んでいるときに、さらにマルチセレクターを同方向 (右図の場合は ) に押すと、反対側の端のフォーカスポイント (②) に移動します。



AF に便利なカスタムボタンの 割り当てについて **CHECK IT OUT** ✓

f1 [カスタムボタンの機能] でカメラの **Pv** ボタンや **Fn** ボタンなどに任意の機能を割り当てられます。各ボタンに AF に関する機能を割り当てることもできます。

● AF に関する機能を割り当てられるボタン

各ボタンに割り当てられるオートフォーカスに関する機能は次の通りです。

	Pv	Fn1	Fn2	Fn	Fn3	AF-ON	⊗	AF-ON	L.Fn
PRE ^[c] プリセット フォーカスポイント	●	●	●	●	—	—	●	—	●
[c] AF エリアモード	●	●	●	—	—	●	●	●	●
[c] AF エリアモード + AF-ON	●	●	●	—	—	●	●	●	●
AE-L/AF-L	●	●	●	—	—	●	●	●	●
AF-L	●	●	●	—	—	●	●	●	●
AF-ON AF-ON	●	●	●	—	—	●	●	●	●

● ボタンに割り当てられる AF に関する機能

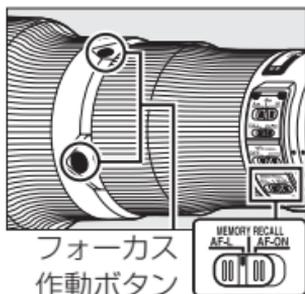
カスタムメニュー f1 [カスタムボタンの機能] で、各ボタンに割り当てられる機能のうち、オートフォーカスに関する機能は次の通りです。

<p>PRE[☐] プリセット フォーカス ポイント</p>	<p>ボタンを押すと、あらかじめ設定した位置のフォーカスポイント（プリセットフォーカスポイント）が選ばれます。</p> <ul style="list-style-type: none">• プリセットフォーカスポイントを設定するには、設定したい位置にフォーカスポイントを移動して、フォーカスポイントが点滅するまで AF モードボタンを押しながら割り当てたボタンを長押しします。• レンズのフォーカス作動ボタンに割り当てた場合、フォーカス作動ボタンを押している間のみ、あらかじめ設定した位置のフォーカスポイント（プリセットフォーカスポイント）が選ばれます。フォーカス作動ボタンを放すと、元のフォーカスポイント位置に戻ります。
<p>[1] AF エリア モード</p>	<p>ボタンを押している間、設定した AF エリアモードに変更します。ボタンを放すと、元の AF エリアモードに戻ります。</p> <ul style="list-style-type: none">• [AF エリアモード] を選んでマルチセレクターの  を押すと、AF エリアモードを選べます。ただし、[3D-トラッキング] は選べません。

 AF エリア モード + AF-ON	<p>ボタンを押している間、設定した AF エリアモードに変更され、ピント合わせも行います。ボタンを放すと、元の AF エリアモードに戻ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [AF エリアモード] を選んでマルチセレクターの  を押すと、AF エリアモードを選べます。ただし、[3D-トラッキング] は選べません。
 AE-L/AF-L	<p>ボタンを押している間、AE ロックとフォーカスロックを同時に行います。</p>
 AF-L	<p>ボタンを押している間、フォーカスロックを行います。</p>
 AF-ON	<p>ボタンを押している間、AF-ON ボタンを押し続けたときと同様にカメラが自動的に被写体にピントを合わせます。</p>

● レンズのフォーカス作動ボタンについて

【Fn レンズのフォーカス作動ボタン】には、フォーカス作動設定スイッチが **AF-L** に設定されている場合に、レンズのフォーカス作動ボタンを押したときの機能を設定できます。例えば、フォーカス作動ボタンに **AF エリアモード** を割り当てることで、フォーカス作動ボタンを押している間は設定した AF エリアモードに変更できます。



フォーカス作動設定スイッチのあるレンズ

- AF-S NIKKOR 800mm f/5.6E FL ED VR
- AF-S NIKKOR 600mm f/4E FL ED VR
- AF-S NIKKOR 600mm f/4G ED VR
- AF-S NIKKOR 500mm f/4E FL ED VR
- AF-S NIKKOR 500mm f/4G ED VR
- AF-S NIKKOR 400mm f/2.8E FL ED VR
- AF-S NIKKOR 400mm f/2.8G ED VR
- AF-S NIKKOR 300mm f/2.8G ED VR II
- AF-S NIKKOR 200mm f/2G ED VR II
- AF-S NIKKOR 200–400mm f/4G ED VR II

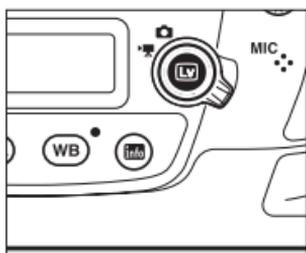
※ 2016年3月現在

AF 微調節の自動設定 **CHECK IT OUT** ✓

D5 では装着したレンズの種類別に自動で AF 微調節を行うことができます。

- 必要な場合のみ AF 微調節を行ってください。
- AF 微調節は、普段の撮影でよく使用する撮影距離で行うことをおすすめします。たとえば、近い距離で AF 微調節を行った場合、遠い被写体に対しては AF 微調節の効果が低下することがあります。

- 1** ライブビューセレクターを  に合わせて **[Lv]** ボタンを押す



- 2** AF モードを AF-S、AF エリアモードをワイドエリア AF またはノーマルエリア AF に設定する

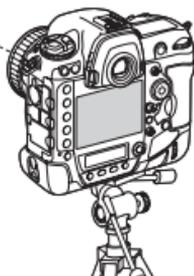
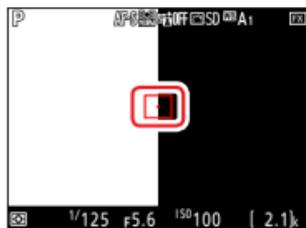


AF 微調節の自動設定

3

フォーカスポイントの位置を画面中央に設定する

- マルチセレクターの**中央**ボタンを押すと、フォーカスポイントが画面中央に移動します。



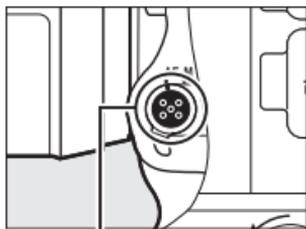
4

シャッターボタンを半押ししてピント合わせを行う

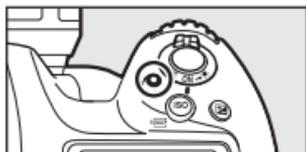
- ピント合わせをするときは、カメラを三脚に固定し、コントラストの高い平面を被写体として選んでください。
- 絞りを開放にすることをおすすめします。
- ピント合わせの後に拡大表示をしてピントが正確に合っているか確認してください。
- 暗い環境では、ライブビューでのオートフォーカスや、自動 AF 微調節ができない場合があります。

5

AF モードボタンと動画撮影ボタンを 2 秒以上同時に押す



AF モードボタン

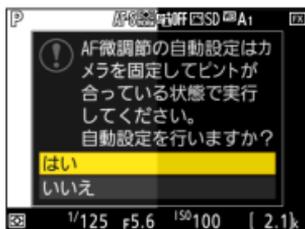


動画撮影ボタン

6

「はい」を選んで \odot ボタンを押す

- ・自動 AF 微調節が実行され、[個別レンズ登録リスト] に装着している CPU レンズの微調節値が登録されます。
- ・同一モデルのレンズは複数登録できません。



7

セットアップメニュー [AF 微調節] の [AF 微調節 (する/しない)] で [する] を選んで \odot ボタンを押す

- ・AF 微調節が有効になります。



撮影競技別の推奨設定

● 撮影シーン別 AF に関する推奨設定一覧

撮影シーン別の AF に関する推奨設定は次の通りです。

撮影シーン	AF モード	AF エリアモード	
<u>サッカー (P.40)</u>	AF-C	ダイナミック AF・25 点	
ウィンター スポーツ	<u>アイスホッケー (P.41)</u>	AF-C	ダイナミック AF・25 点
	<u>スキージャンプ (側面からの撮影)(P.42)</u>	AF-C	ダイナミック AF・25 点
	<u>スキージャンプ (正面からの撮影)(P.43)</u>	AF-C	ダイナミック AF・25 点
	<u>アルペンスキー (ポール付近) (P.44)</u>	AF-C	ダイナミック AF・25 点
	<u>アルペンスキー (ジャンプシーン)(P.45)</u>	AF-C	グループエリア AF グループエリア AF (HL)
	<u>フィギュアスケート (シングル) (P.46)</u>	AF-C	ダイナミック AF・25 点 オートエリア AF
	<u>フィギュアスケート (ペア・アイスダンス) (P.48)</u>	AF-C	オートエリア AF
	<u>スピードスケート(P.49)</u>	AF-C	ダイナミック AF・25 点 ダイナミック AF・72 点
	<u>ショートトラック(P.50)</u>	AF-C	ダイナミック AF・9 点 グループエリア AF

カスタムメニュー			
a1：AF-C モード時の優先	a3：AF ロックオン		a7：縦 / 横位置 フォーカス切換
	横切りへの反応	被写体の動き	
[リリース]	[2]	標準	[フォーカスポイント]
[リリース]	[1 (敏感)]、[2]	[ランダム]	[フォーカスポイント]
[リリース]	[2]	標準	—
[リリース]	[2]	標準	—
[リリース]	[2]	標準	—
[リリース]	[3]	標準	—
[リリース]	[3]	標準	[フォーカスポイント]
[リリース]	[3]	標準	[フォーカスポイント]
[リリース]	[3]	[スムーズ]	[フォーカスポイント]
[リリース]	[3]	標準	[フォーカスポイント]

撮影競技別の推奨設定

撮影シーン		AF モード	AF エリアモード
体操	ゆか (P.52)	AF-C	オートエリア AF ダイナミック AF・72 点
	新体操 (P.54)	AF-C	ダイナミック AF・72 点 3D-トラッキング
	平均台 (P.56)	AF-C	3D-トラッキング オートエリア AF ダイナミック AF・72 点
	跳馬 (P.58)	AF-C	オートエリア AF ダイナミック AF・153 点
	つり輪、鉄棒、段違い 平行棒 (P.59)	AF-C	ダイナミック AF・72 点 オートエリア AF
陸上競技	短距離走 (P.60)	AF-C	ダイナミック AF・25 点 グループエリア AF グループエリア AF (HL)
	ハードル走 (P.62)	AF-C	ダイナミック AF・9 点 グループエリア AF (HL)
	短距離走、ハードル走 (リモートカメラ撮影) (P.63)	AF-C	グループエリア AF (HL)
	マラソン (乗り物の上から撮影) (P.64)	AF-C	ダイナミック AF・9 点

カスタムメニュー			
a1：AF-C モード時の優先	a3：AF ロックオン		a7：縦 / 横位置 フォーカス切替
	横切りへの反応	被写体の動き	
[リリース]	[3]	標準	[フォーカスポイント]
[リリース]	[3]	標準	[フォーカスポイント]
[リリース]	[3]	標準	—
[リリース]	[2]	標準または [ランダム]	—
[リリース]	[3]	標準	—
[リリース]	[3]	標準	[フォーカスポイント]
[リリース]	[3]	標準	[フォーカスポイント]
[リリース]	[3]	標準	—
[リリース]	[3]	標準	—

撮影競技別の推奨設定

撮影シーン		AF モード	AF エリアモード
陸上競技	砲丸投、円盤投、やり投、ハンマー投 (遠方正面から撮影) (P.65)	AF-C	グループエリア AF
	走幅跳、三段跳 (正面から撮影) (P.66)	AF-C	ダイナミック AF・25 点
	走高跳、棒高跳 (P.67)	AF-C	ダイナミック AF・25 点
水泳	競泳 (P.68)	AF-C	ダイナミック AF・9 点
	飛び込み (P.70)	AF-C	3D-トラッキング オートエリア AF ダイナミック AF・153 点
	シンクロナイズドスイミング (P.72)	AF-C	ダイナミック AF・25 点

カスタムメニュー			
a1：AF-C モード時の優先	a3：AFロックオン		a7：縦／横位置 フォーカス切換
	横切りへの反応	被写体の動き	
[リリース]	[3]	標準	—
[リリース]	[3]	[ランダム]	—
[リリース]	[3]	[ランダム]	—
[リリース]	[3]	標準	—
[リリース]	[3]	標準	—
[リリース]	[3]	標準	—

● サッカー

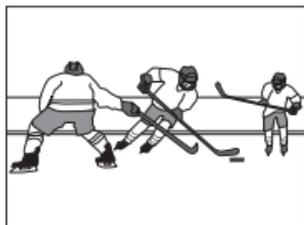


AF モード		AF-C	
AF エリアモード		ダイナミック AF・25 点	
カスタムメニュー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[2]
		被写体の動き	標準
	a7: 縦 / 横位置フォーカス切換	[フォーカスポイント]	

- サッカーでは被写体の手前を別の被写体が横切ったり、頻繁に主要被写体を遠くと近くで切り換えるなどさまざまなケースが発生しますが、上記の設定で幅広いケースに対応できます。
- 多くの選手が密集する中で特定の選手だけを狙いたい場合は、ダイナミック AF・9 点をおすすめします。

● ウィンタースポーツ

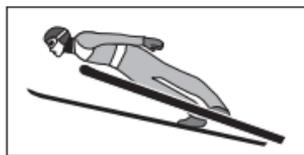
アイスホッケー



AF モード	AF-C		
AF エリアモード	ダイナミック AF・25 点		
カスタムメニュー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[1 (敏感)], [2]
		被写体の動き	[ランダム]
	a7: 縦 / 横位置フォーカス切替	[フォーカスポイント]	

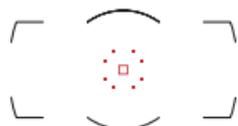
- ・パックの動きに合わせ、被写体を次々に変えてピントを合わせ直しながら撮影する場合、[AF ロックオン] の [横切りへの反応] を敏感側にすることで、現在ピントを合わせている被写体から距離の離れた他の被写体にも瞬時にピントを切り換えることができます。ただし、狙っている被写体がフォーカスポイントから外れると、ピントも瞬時に外れます。
- ・多くの選手が密集する中で特定の選手だけを狙いたい場合は、ダイナミック AF・9 点をおすすめします。

スキージャンプ (側面からの撮影)



AF モード	AF-C		
AF エリアモード	ダイナミック AF・25 点		
カスタムメニュー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[2]
		被写体の動き	標準

- ダイナミック AF・25 点の範囲で被写体を捉え続けることが難しい場合には、ダイナミック AF・72 点またはダイナミック AF・153 点に設定してフォーカスポイントの数を増やします。これにより、選択したフォーカスポイントから被写体が一時的に外れても、より広い範囲のフォーカスポイントからピント情報を利用してピントを合わせ続けることができます。また、スキーの板にピントが合ってしまう場合はダイナミック AF・9 点に設定してフォーカスポイントの数を減らすことをおすすめします。
- AF エリアフレーム周辺のフォーカスポイントを選択した場合、ダイナミック AF のフォーカスポイントの数が減少します。ダイナミック AF・72 点に設定すると、ダイナミック AF・25 点相当の範囲をカバーすることができます。範囲を広くしたい場合は 72 点をおすすめします。



ダイナミック AF・25 点 (中央)

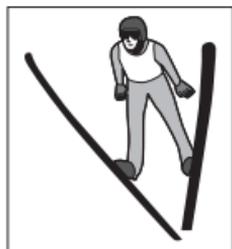


ダイナミック AF・25 点 (端)



ダイナミック AF・72 点 (端)

スキージャンプ (正面からの撮影)



AF モード		AF-C	
AF エリアモード		ダイナミック AF・25 点	
カスタムメニュー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[2]
		被写体の動き	標準

AF エリアフレーム周辺のフォーカスポイントを選択した場合、ダイナミック AF のフォーカスポイントの数が減少します。ダイナミック AF・72 点に設定すると、ダイナミック AF・25 点相当の範囲をカバーすることができます。範囲を広くしたい場合は 72 点をおすすめします。



ダイナミック AF・
25 点 (中央)

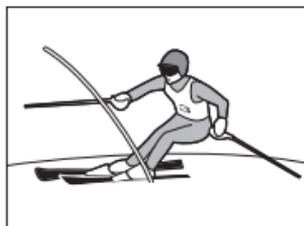


ダイナミック AF・
25 点 (端)



ダイナミック AF・
72 点 (端)

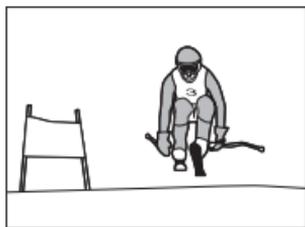
アルペンスキー (ポール付近)



AF モード		AF-C	
AF エリアモード		ダイナミック AF・25 点	
カスタムメニュー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[2]
		被写体の動き	標準

- [AF ロックオン] の [横切りへの反応] を鈍感側 ([5 (鈍感)]) または [4]) に設定していると、ポールなどにピントが合ってしまったときに、ポールと被写体の距離によっては、主要な被写体である選手にピントが戻りにくくなることがあります。[AF ロックオン] の [横切りへの反応] を鈍感側 ([5 (鈍感)]) または [4]) に設定したまま撮影する場合は、ポールにピントが合ったときに AF し直すことで瞬時に主要な被写体にピントを戻すことができます。
- **AF-ON** ボタンを押し続ける、またはシャッターボタンを半押しし続けて撮影したい場合は、[AF ロックオン] の [横切りへの反応] を敏感側 ([2] または [1 (敏感)]) に設定することで、ピントをポールから主要な被写体に戻りやすくすることができます (ただし、ポールにピントが合う頻度も高くなります)。
- ダイナミック AF・25 点の範囲で被写体を捉え続けることが難しい場合には、ダイナミック AF・72 点に設定してフォーカスポイントの数を増やしてください。

アルペンスキー (ジャンプシーン)



AF モード		AF-C	
AF エリアモード		グループエリア AF グループエリア AF (HL)	
カスタムメニュー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[3]
		被写体の動き	標準

- 被写体が見えないところから突然現れ、旗門には交差しないようなシーンでは、AF エリアモードをグループエリア AF に設定してください。狙った被写体が小さく捉えにくい場合でも、面で捉え続けることで AF の安定性が向上します。
- AF エリアモードをグループエリア AF (HL) に設定すると、狙った被写体がどこから出現するかわからない状態でも横一列で被写体を捉えることができます。この場合、旗門を避けた位置にフォーカスポイントを合わせてください。

フィギュアスケート (シングル)



AF モード		AF-C	
AF エリアモード		ダイナミック AF・25 点 オートエリア AF	
カ ス タ ム メ ニ ユ ー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[3]
		被写体の動き	標準
	a7: 縦 / 横位置フォーカス切換	[フォーカスポイント]	

- a7 [縦 / 横位置フォーカス切換] で [フォーカスポイントと AF エリアモード] を選ぶと、カメラの縦位置と横位置を切り換えたときに、あらかじめ設定したフォーカスポイントと AF エリアモードが自動的に切り替わります (P.22)。
- 構図を優先して撮影したい場合は、オートエリア AF をおすすめします。
- ダイナミック AF・25 点の範囲で被写体を捉え続けることが難しい場合には、ダイナミック AF・72 点に設定してフォーカスポイントの数を増やしてください。

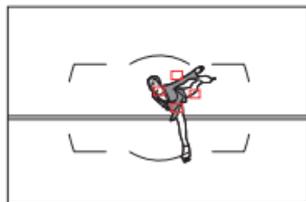
レンズのフォーカス作動ボタンに [AF エリアモード] を割り当てる場合の使用例

CHECK IT OUT ✓

- 通常の撮影時には AF エリアモードをダイナミック AF・25 点に設定しておき、f1 [カスタムボタンの機能] の [Fn レンズのフォーカス作動ボタン] に [AF エリアモード] のグループエリア AF を割り当てます (P.30)。カメラを縦位置にして近くに接近した被写体を撮影する場合はダイナミック AF・25 点、カメラを横位置にして遠くにいる被写体を撮影する場合はグループエリア AF に切り替えると便利です。



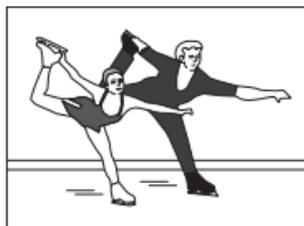
ダイナミック AF・25 点
(近くの被写体を撮影する)



グループエリア AF
(遠くの被写体を撮影する)

- AF エリアモードは、**Pv** ボタン、**Fn1** ボタン、**Fn2** ボタン、**AF-ON** ボタン、サブセレクター中央、縦位置 **AF-ON** ボタンにも割り当てられます (P.27)。

フィギュアスケート (ペア・アイスダンス)



AF モード		AF-C	
AF エリアモード		オートエリア AF	
カスタムメニュー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[3]
		被写体の動き	標準
a7: 縦 / 横位置フォーカス切換		[フォーカスポイント]	

人物の交差が多く、被写体と被写体の間にフォーカスポイントが入りやすいシーンでは [AF ロックオン] の [横切りへの反応] を鈍感側にすることで主要な被写体に対する追従性を向上できます。

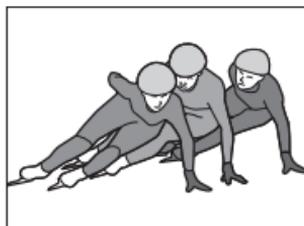
スピードスケート



AF モード		AF-C	
AF エリアモード		ダイナミック AF・25 点 ダイナミック AF・72 点	
カスタムメニュー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[3]
		被写体の動き	[スムーズ]
	a7: 縦 / 横位置フォーカス切換	[フォーカスポイント]	

- カメラを横位置にして被写体をバストアップで撮影したい場合はダイナミック AF・25 点、カメラを縦位置で AF エリアフレーム周辺のフォーカスポイントを使ってピントを合わせる場合はダイナミック AF・72 点に設定してください。AF エリアフレーム周辺のフォーカスポイントを使用する場合は、ダイナミック AF のフォーカスポイントの数が減少するため、ダイナミック AF・25 点からダイナミック AF・72 点に変更することをおすすめします。
- 被写体を正面から撮影する場合は、ダイナミック AF・25 点をおすすめします。

ショートトラック



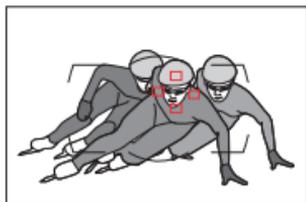
AF モード		AF-C	
AF エリアモード		ダイナミック AF・9点 グループエリア AF	
カスタムメニュー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[3]
		被写体の動き	標準
	a7: 縦 / 横位置フォーカス切換	[フォーカスポイント]	

- ・ グループエリア AF は被写体である選手の走行順位がトップの場合に効果を発揮します。2 位以降の選手を撮影したい場合には意図せずトップの選手にピントが合ってしまうおそれがあるため、ダイナミック AF・9 点に設定することをおすすめします。
- ・ ダイナミック AF・9 点の範囲で被写体を捉え続けることが難しい場合には、ダイナミック AF・25 点に設定してフォーカスポイントの数を増やしてください。

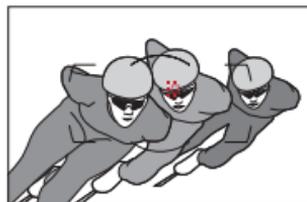
レンズのフォーカス作動ボタンに [AF エリアモード] を割り当てる場合の使用例

CHECK IT OUT ✓

- ・ f1 [カスタムボタンの機能] の [Fn レンズのフォーカス作動ボタン] に [AF エリアモード] を割り当てておくと、レンズのフォーカス作動ボタンで AF エリアモードを素早く切り換えて撮影することができます (P.30)。



グループエリア AF



ダイナミック AF・9点

(トップの被写体を撮影する) (2位以降の被写体を撮影する)

- ・ AF エリアモードは、**Pv** ボタン、**Fn1** ボタン、**Fn2** ボタン、**AF-ON** ボタン、サブセレクター中央、縦位置 **AF-ON** ボタンにも割り当てられます (P.27)。

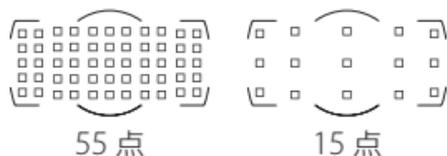
● 体操

ゆか



AF モード		AF-C	
AF エリアモード		オートエリア AF ダイナミック AF・72 点	
カスタムメニュー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[3]
		被写体の動き	標準
a7: 縦 / 横位置フォーカス切換		[フォーカスポイント]	

- ・構図を優先して撮影したい場合はオートエリア AF をおすすめします。
- ・オートエリア AF に設定している場合、細かく規則的に並んだパターンが背景にある場合、ピントが合わなくてもピント表示 (●) が点灯してシャッターがきれることがあります。このような場合はダイナミック AF ・72 点をおすすめします。
- ・ダイナミック AF に設定している場合、被写体の動きが激しく被写体を捉え続けにくいシーンでは、ダイナミック AF のフォーカスポイント (□) の数を増やすか、被写体を面として捉えることができるグループエリア AF に設定してください。
- ・カメラの縦位置と横位置を瞬時に切り換えて撮影する場合は、あらかじめ a7 [縦 / 横位置フォーカス切換] で [フォーカスポイントと AF エリアモード] に設定し、横位置、時計回りの縦位置、反時計回りの縦位置でそれぞれのフォーカスポイントの位置や AF エリアモードを設定しておくとう便利です (P.22)。
- ・フォーカスポイントの位置を頻繁に変える場合は、a6 [AF 点数切り換え] で [15 点] に設定しておくとう便利です。フォーカスポイントの数が少なくなるため、フォーカスポイント間をすばやく移動することができます (P.22)。

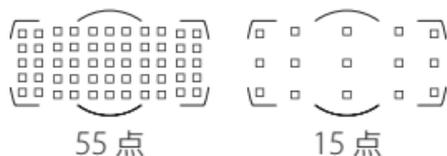


新体操



AF モード		AF-C	
AF エリアモード		ダイナミック AF・72 点 3D-トラッキング	
カスタムメニュー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[3]
		被写体の動き	標準
	a4: 3D-トラッキングの顔認識	[しない]	
a7: 縦 / 横位置フォーカス切換	[フォーカスポイント]		

- 道具を使用する新体操の場合、3D-トラッキングを使用することで、構図に集中して撮影ができます。
- 3D-トラッキングを使用する場合は、最初に選手にピントを合わせてください。色やパターンに特徴のあるユニフォームに合わせてるとより効果的です。**AF-ON** ボタンを押し続けるか、シャッターボタンを半押しし続けると、選手の動きに合わせてフォーカスポイントが自動的に切り換わります。
- 観客席や看板があり、被写体の背景が単調でないシーンでは、3D-トラッキングが効果的に動かないことがあります。その場合は、ダイナミック AF・72 点がおすすです。
- カメラの縦位置と横位置を瞬時に切り換えて撮影する場合は、あらかじめ a7 [縦 / 横位置フォーカス切換] で [フォーカスポイントと AF エリアモード] に設定し、横位置、時計回りの縦位置、反時計回りの縦位置でそれぞれのフォーカスポイントの位置や AF エリアモードを設定しておくとう便利です (P.22)。
- フォーカスポイントの位置を頻繁に変える場合は、a6 [AF 点数切り換え] で [15 点] に設定しておくとう便利です。フォーカスポイントの数が少なくなるため、フォーカスポイント間をすばやく移動することができます (P.22)。



撮影競技別の推奨設定

平均台



AF モード		AF-C	
AF エリアモード		3D- トラッキング オートエリア AF ダイナミック AF・72 点	
カスタムメニュー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[3]
		被写体の動き	標準
a4: 3D- トラッキングの顔認識	[しない]		

-
- ・ 構図を優先して撮影したい場合はオートエリア AF を、顔などをアップで撮影したい場合はダイナミック AF・72 点をおすすめします。
 - ・ 被写体の進行方向が頻繁に変わったり、跳んだりするシーンが多い場合は、3D-トラッキングを使用することで、構図に集中して撮影できます。
 - ・ 3D-トラッキングを使用する場合は、最初に選手にピントを合わせてください。色やパターンに特徴のあるユニフォームに合わせるとより効果的です。**AF-ON** ボタンを押し続けるか、シャッターボタンを半押しし続けると、選手の動きに合わせてフォーカスポイントが自動的に切り換わります。
 - ・ 観客席や看板があり、被写体の背景が単調でないシーンでは、3D-トラッキングが効果的に動かないことがあります。その場合は、ダイナミック AF・25 点、またはダイナミック AF・72 点がおすすめです。
 - ・ 平均台の正面から撮影する場合、オートエリア AF を使用すると平均台の端を捉えて選手にピントが合わないことがあります。この場合、平均台を避けてフォーカスポイント位置を任意に選択できるダイナミック AF・153 点やグループエリア AF をおすすめします。

跳馬



AF モード		AF-C	
AF エリアモード		オートエリア AF ダイナミック AF・153 点	
カスタムメニュー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[2]
		被写体の動き	標準または [ランダム]

- 画面内に被写体を収めることが難しいシーンでは、オートエリア AF を使用してください。オートエリア AF を使用すると、カメラが自動的にフォーカスポイントを選択してピントを合わせるため、構図に集中して撮影できます。
- 助走が見えない場合は跳馬台にあらかじめピントを合わせ、選手が見えたタイミングでシャッターボタンを再度半押しすると、選手にピントが合いやすくなります。
- オートエリア AF を使用していて跳馬台にピントが合ってしまう場合は、ダイナミック AF・153 点やグループエリア AF をおすすめします。
- 跳馬台にピントが合った後に選手にピントが移動しない場合は、[AF ロックオン]の[横切りへの反応]を敏感側に設定してください。

つり輪、鉄棒、段違い平行棒



AF モード		AF-C	
AF エリアモード		ダイナミック AF・72 点 オートエリア AF	
カスタムメニュー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[3]
		被写体の動き	標準

ダイナミック AF・72 点の範囲で被写体を捉え続けることが難しい場合には、ダイナミック AF のフォーカスポイント (□) の数を増やしてください。

● 陸上競技

短距離走



AF モード		AF-C	
AF エリアモード		ダイナミック AF・25 点 グループエリア AF グループエリア AF (HL)	
カ ス タ ム メ ニ ユ ー	a1: AF-C モード時の優先		[リリース]
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[3]
		被写体の動き	標準
	a7: 縦 / 横位置フォーカス切換		[フォーカスポイント]

- スタート地点など遠くにいる小さな被写体を撮影する場合はグループエリア AF を使用すると AF の安定性が向上します。
- 近づいてきた選手を撮影するときに、選手の手にピントが合うことを避けるには、グループエリア AF よりもダイナミック AF・25 点がおすすです。
- グループエリア AF (HL) に設定すると、横一線に並んだ選手の中で、最も手前の選手にピントを合わせます。ただし、スタート地点の選手の背景に細かく規則的に並んだパターンがある場合、ピントが合っていない場合でもピント表示 (●) が点灯することがあります。このような場合はダイナミック AF で撮影することをおすすめします。

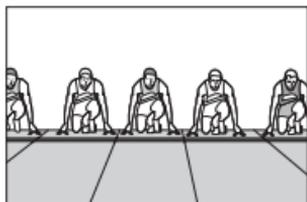
- ゴール後にカメラの縦位置と横位置を瞬時に切り換えて撮影する場合は、あらかじめ a7 [縦 / 横位置フォーカス切換] で [フォーカスポイントと AF エリアモード] に設定し、横位置、時計回りの縦位置、反時計回りの縦位置でそれぞれのフォーカスポイントの位置や AF エリアモードを設定しておくとう便利です。

レンズのフォーカス 작동ボタンに

CHECK IT OUT ✓

[AF エリアモード] を割り当てる場合の使用例

- ダイナミック AF・25 点とグループエリア AF を瞬時に切り換える場合は、f1 [カスタムボタンの機能] の [Fn レンズのフォーカス 작동ボタン] の [AF エリアモード] で [グループエリア AF] または [ダイナミック AF (25 点)] を割り当てておくことファインダーから目を離さず瞬時に切り換えることができるため便利です (P.30)。



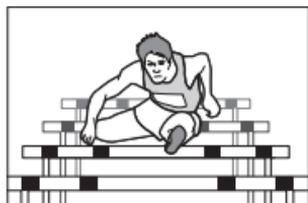
グループエリア AF
(遠くにいる被写体を
撮影する)



ダイナミック AF・25 点
(近づいてきた被写体を
撮影する)

- AF エリアモードは、Pv ボタン、Fn1 ボタン、Fn2 ボタン、AF-ON ボタン、サブセクター中央、縦位置 AF-ON ボタンにも割り当てられます (P.27)。

ハードル走



AF モード		AF-C	
AF エリアモード		ダイナミック AF・9点 グループエリア AF (HL)	
カ ス タ ム メ ニ ュー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[3]
		被写体の動き	標準
	a7: 縦 / 横位置フォーカス切換	[フォーカスポイント]	

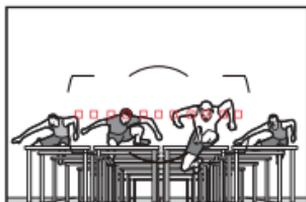
- 選手の手前にあるハードルにピントが合ってしまった場合は、主要な被写体に AF し直すことで瞬時にピントを戻すことができます。
- グループエリア AF (HL) に設定すると、横一線に並んだ選手の中で、最も手前の選手にピントを合わせます。ただし、スタート地点の選手の背景に細かく規則的に並んだパターンがある場合、ピントが合っていないくてもピント表示 (●) が点灯することがあります。このような場合はダイナミック AF で撮影することをおすすめします。
- ゴール後にカメラの縦位置と横位置を瞬時に切り換えて撮影する場合は、あらかじめ a7 [縦 / 横位置フォーカス切換] で [フォーカスポイントと AF エリアモード] に設定し、横位置、時計回りの縦位置、反時計回りの縦位置でそれぞれのフォーカスポイントの位置や AF エリアモードを設定しておくくと便利です。

短距離走、ハードル走 (リモートカメラ撮影)

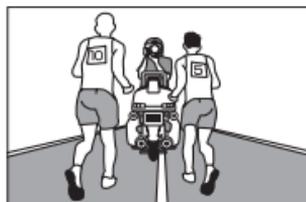


AF モード		AF-C	
AF エリアモード		グループエリア AF (HL)	
カスタムメニュー	a1: AF-C モード時の優先		[リリース]
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[3]
		被写体の動き	標準

- 短距離走やハードル走でリモート撮影を行う場合、グループエリア AF (HL) に設定しておくとも最も手前の選手にピントを合わせることができます。
- ハードル走の場合は、ハードルを避けた位置にフォーカスポイントを合わせてください。



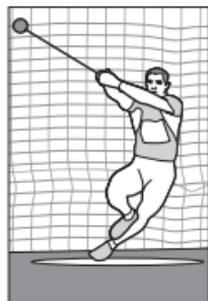
マラソン (乗り物の上から撮影)



AF モード		AF-C	
AF エリアモード		ダイナミック AF・9点	
カスタムメニュー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[3]
		被写体の動き	標準

- ・ 乗り物の上から集団の中の特定選手を撮影する場合は、ダイナミック AF・9点がおすすです。
- ・ フォーカスポイントをうまく被写体に合わせられない場合はオートエリア AF がおすすです。
- ・ レンズの VR モードに **[SPORT]** がある場合は **[SPORT]** に、**[ACTIVE]** がある場合は **[ACTIVE]** に手ブレ補正スイッチをセットすると、ブレを軽減することができます。

砲丸投、円盤投、やり投、
ハンマー投
(遠方正面から撮影)



AF モード		AF-C	
AF エリアモード		グループエリア AF	
カスタムメニュー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[3]
		被写体の動き	標準

遠くにいる被写体を撮影する場合は、グループエリア AF を使用すると AF の安定性が向上します。

撮影競技別の推奨設定

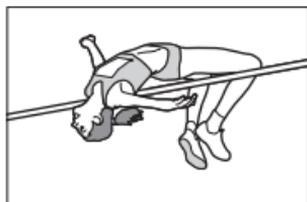
走幅跳、三段跳 (正面から撮影)



AF モード		AF-C	
AF エリアモード		ダイナミック AF・25 点	
カスタムメニュー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[3]
		被写体の動き	[ランダム]

被写体の動きを捉えながら砂にピントが合うことをなるべく避けるには、ダイナミック AF のフォーカスポイント (□) の数を少なくすることをおすすめします。

走高跳、棒高跳



AF モード		AF-C	
AF エリアモード		ダイナミック AF・25 点	
カスタムメニュー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[3]
		被写体の動き	[ランダム]

ダイナミック AF・25 点の範囲で被写体を捉え続けることが難しい場合には、ダイナミック AF・72 点に設定してフォーカスポイントの数を増やすか、オートエリア AF を使用してください。また、限定した範囲のみでピント合わせをしたい場合には、ダイナミック AF・9 点を使用してください。

● 水泳

競泳



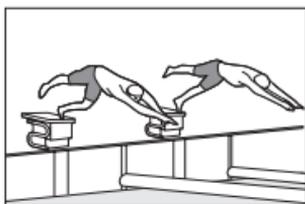
AF モード		AF-C	
AF エリアモード		ダイナミック AF・9 点	
カスタムメニュー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[3]
		被写体の動き	標準

- 泳いでいる選手を撮影する場合は、水しぶきにピントが合うことをなるべく避けるためダイナミック AF・9 点がおすすです。
- 水しぶきにピントが合ってしまった場合は、主要な被写体に AF し直すことで瞬時にピントを戻すことができます。

レンズのフォーカス作動ボタンに [AF エリアモード] を割り当てる場合の使用例

CHECK IT OUT ✓

- 通常の撮影時には AF エリアモードをダイナミック AF・9 点に設定しておき、f1 [カスタムボタンの機能] の [Fn レンズのフォーカス作動ボタン] に [AF エリアモード] のグループエリア AF を割り当てます (P.30)。選手が飛び込む瞬間を撮影する場合はグループエリア AF、泳いでいる選手を撮影する場合はダイナミック AF・9 点に切り換えると便利です。



グループエリア AF
(飛び込む瞬間を撮影する)

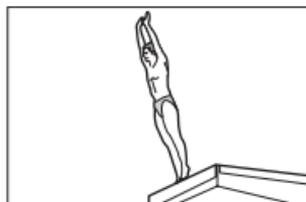


ダイナミック AF・9 点
(泳いでいる選手を撮影する)

- AF エリアモードは、**Pv** ボタン、**Fn1** ボタン、**Fn2** ボタン、**AF-ON** ボタン、サブセレクター中央、縦位置 **AF-ON** ボタンにも割り当てられます (P.27)。

撮影競技別の推奨設定

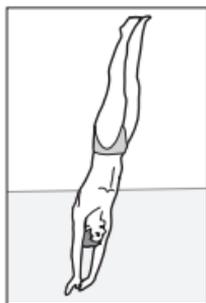
飛び込み



AF モード		AF-C	
AF エリアモード		3D- トラッキング オートエリア AF ダイナミック AF・153 点	
カスタムメニュー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[3]
		被写体の動き	標準
a4: 3D- トラッキングの顔認識	[しない]		

- 飛び込みのようにフレーミングが難しい被写体に対しては、3D-トラッキングを使用することで、構図に集中して撮影できます。
- 3D-トラッキングを使用する場合は、飛び込む前の選手にピントを合わせてください。色やパターンに特徴のあるユニフォームに合わせてとより効果的です。**AF-ON** ボタンを押し続けるか、シャッターボタンを半押しし続けると、選手の動きに合わせてフォーカスポイントが自動的に移動します。
- 観客席や看板があり、被写体の背景が単調でないシーンでは、3D-トラッキングが効果的に動かないことがあります。その場合は、ダイナミック AF・153 点がおすすです。

背景が単調なシーン



背景が単調でないシーン



シンクロナイズドスイミング



AF モード		AF-C	
AF エリアモード		ダイナミック AF・25 点	
カスタムメニュー	a1: AF-C モード時の優先	[リリース]	
	a3: AF ロックオン	横切りへの反応	[3]
		被写体の動き	標準